

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6566576号

(P6566576)

(45) 発行日 令和1年8月28日(2019.8.28)

(24) 登録日 令和1年8月9日(2019.8.9)

(51) Int. Cl.

G06F 21/56 (2013.01)

F I

G06F 21/56

請求項の数 15 (全 31 頁)

(21) 出願番号	特願2016-560230 (P2016-560230)	(73) 特許権者	899000068
(86) (22) 出願日	平成27年11月17日 (2015.11.17)		学校法人早稲田大学
(86) 国際出願番号	PCT/JP2015/082223		東京都新宿区戸塚町1丁目104番地
(87) 国際公開番号	W02016/080380	(74) 代理人	100137800
(87) 国際公開日	平成28年5月26日 (2016.5.26)		弁理士 吉田 正義
審査請求日	平成30年11月1日 (2018.11.1)	(74) 代理人	100148253
(31) 優先権主張番号	特願2014-233953 (P2014-233953)		弁理士 今枝 弘充
(32) 優先日	平成26年11月18日 (2014.11.18)	(74) 代理人	100148079
(33) 優先権主張国・地域又は機関	日本国(JP)		弁理士 梅村 裕明
		(74) 代理人	100158241
			弁理士 吉田 安子
(出願人による申告) 平成26年度、総務省、戦略的情		(72) 発明者	戸川 望
報通信研究開発推進事業、産業技術力強化法第19条の			日本国東京都新宿区戸塚町1丁目104番
適用を受ける特許出願			地 学校法人早稲田大学内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ハードウェアトロイの検出方法、ハードウェアトロイの検出プログラム、およびハードウェアトロイの検出装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

集積回路のネットリスト中のハードウェアトロイを検出する検出方法であって、
前記ハードウェアトロイの存在を示すトロイネットを含む既知ネットリストと、前記トロイネットを含まない既知ネットリストとの両方を含む複数の既知ネットリストに基づき、
前記トロイネットの有無を判断するための条件を設定する条件設定工程と、
前記条件に基づき、被検ネットリストとしての前記集積回路のネットリストを評価し、得られた評価結果から前記被検ネットリスト中のトロイネットの有無を判断する判断工程とを備えることを特徴とする検出方法。

【請求項2】

前記複数の既知ネットリストのそれぞれは、端子間ネットによって接続された一群の回路によって構成される構成ネットを少なくとも一つ含む集合ネットを、少なくとも一つ有し、
前記被検ネットリストは、端子間ネットによって接続された一群の回路によって構成される構成ネットを少なくとも一つ含む集合ネットを、少なくとも一つ有し、
前記条件設定工程は、
前記複数の既知ネットリストのそれぞれについて、前記集合ネットに含まれる前記構成ネットの形態を基に、前記トロイネットを含む可能性がある構成ネットを対照ネットとして、前記複数の既知ネットリストから選択し、前記対照ネットにそれぞれ付与されるスコアに基づく条件設定を含み、

10

20